

令和元年度9月 (一社)大阪臨床整形外科医会理事会議事録

令和元年9月7日(土) ハービス PLAZA 6階(4.5.6)会議室

出席者41名

会長： 増田 博 副会長： 藤本啓治 小林正之 白木隆士 木下裕介
理事： 石井正治 右近良治 大成浩征 荻野 晃 貴島浩二 岸本英樹 岸本成人
日下昌浩 古瀬洋一 清水広太 田中富弥 田上実男 調子和則 中野晋吾
西澤 徹 邊見俊一 堀口泰輔 前中孝文 宮口正継 宮崎 浩 宮島茂夫
宮田重樹 森下 忍 森本清一 矢倉久義 山口康二 山口眞一 山本善哉
山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治 和田孝彦

特別会員： 早石雅有 監事： 黒田晃司 松矢浩司 栗本一孝

[協議事項]

1、研修会実施予定

白木副会長

下記特別研修会、第322～324回研修会、骨・関節フォーラムについて、
役割担当が提案され、承認された

特別研修会 令和元年9月21日(土) リーガロイヤルホテル(アステラス製薬)

Opening Remarks 会長 増田 博 Closing Remarks 副会長 小林 正之
講演1 座長 貴島 浩二 講演2 座長 清水 広太

322回研修会(9月28日 ANAクラウンプラザホテル) 共催 第一三共(株)

総合司会 和田孝彦 受付 宮島茂夫

学術講演1. 演者変更あり、座長 宮崎 浩 学術講演2. 座長 日下昌浩

323回研修会(10月19日 ANAクラウンプラザホテル) 共催 帝人(株)

総合司会 邊見俊一 受付 吉村弘治

学術講演1. 座長 中野 晋吾 学術講演2. 座長 山本 哲

324回研修会(11月9日 会場変更、ホテル阪急インターナショナル) 共催 久光製薬(株)

総合司会 山本善哉 受付 岸本成人

学術講演1：座長 神藤 佳孝 学術講演2：座長変更あり、上野憲司

骨・関節フォーラム(11月30日 グランフロント大阪) 中外・メジカルビュー

Opening Remarks 会長 増田 博 Closing Remarks 貴島 浩

講演1 座長 増田 博 講演2 座長 山口眞一 講演3 座長 木下裕介

第325～333回研修会は、総合司会、受付、座長、日整会、日医生涯研修、単位申請は未定

2、第3回JCOA災害医療チーム研修会

宮崎理事

1, 2回は東京開催、第3回は関西開催となる。当日出務依頼がなされた。

場所： 大阪市立大学医学部附属病院

あべのメディックス8F スキルスシミュレーションセンター
大阪市立阿倍野防災センター
体験型防災学習施設 あべのタスカル

日時： 令和2年2月24日（月・祝）午前11時より

会次第（予定）

11:00 開会挨拶 11:05 趣旨説明

11:20 座学（1時間）

大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター 藤見 聡先生

12:20 昼食（40分）ランチョンセミナー

神藤佳孝先生「まほろば関西・シンポ2」の内容

13:00 BLS実習（90分）

BLS講習は、2～3名にインストラクター1名が標準であると思われます。

30～40名の参加を予想、OCAO会員の助力をお願いします。

14:45 体験型防災学習施設見学（1時間コース）

大阪市立阿倍野防災センター 体験型防災学習施設 あべのタスカル

40～50名で仮予約完了しています。（変更可能）

15:45 閉会（大阪市立阿倍野防災センター内の会議室を借りる事は可能です。）

オプション エッジ・ザ・ハルカス-日本初！断崖絶壁スリル体験！

（個人での参加：会としての案内等は致しません）

3、第9回大阪マラソン

荻野理事

令和元年12月1日 日曜日開催

開催概要 主催： 大阪府、大阪市、(一財)大阪陸上競技協会 共催 読売新聞社

後援： 大阪パラ陸上競技協会、(公財)日本陸上競技連盟、他

スポンサー： 大阪市高速電気軌道株式会社、ミズノ株式会社、他

テーマ みんなでかける虹。

マラソン組織委員会から今年度もOCAO会長宛整形外科医50名の派遣依頼（資料①）。

出務医師50名と救護所は資料②の通り。新出務医は、高尾泰広先生（古瀬班）1名。

大阪マラソン関連予算案

支出 会場費(会場費見積もり添付) 51万5900円 (昨年514620円) (資料③)

交通費 地下鉄1日乗車券(600円)78名分 4万6800円

各種製作費 Tシャツ2000円 ブルゾン3500円(税抜き)1名 5940円

郵送費 レターパック 510円×1 510円

120円×78名分(ADカード及び乗車券送付) 9360円

支出 57万8510円(昨年61万5930円)

収入 打ち上げ会参加費 5000円×50名分

収入 25万0000円

第9回大阪マラソン関連予算収支 合計▲32万2060円（昨年▲36万5780円）

打ち上げ会は17:30開始 2時間、ホテルニューオータニ の予定

懇親会の出務費2000円→0円、見廻り隊各人に5000円支給する、以上承認された。

4、大阪臨床整形外科医会会報46号

調子理事

会報46号の目次（案）および執筆担当者（案）について承認された（未定あり）。

会報45号が発行され、多くのCOA会長から礼状が届いた。会報45号見積書を検討し経費削減できたので、継続して（株）ひらたでの印刷を継続することが承認された。

5、その他

(1) OCOA会員となっていた会員が医療法人を売却し、転居されたが、現院長は未入会であるが、会費がそのまま自動引き落としになっていた。

現在の医療法人事業主の新入会についての検討がなされた。

増田会長

(2) PTおよびOTの転職希望情報があれば、OCOAホームページに掲載し、診療所での雇用促進につなげたい。

宮田理事

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

小林副会長

前回理事会以降新入会22名

R1.6.13 入会	葭井健男	阪南市民病院	近大 S63	近大	近大医師会
R1.6.13 入会	西村章朗	阪南市民病院	近大 H12	近大	泉佐野泉南医師会
R1.6.22 入会	三木良久	京優会北摂三木病院	近大 H21	近大	吹田市医師会
R1.6.22 入会	藤原俊介	白藤藤原診療所	兵医大 H10	大医大麻酔	高槻市医師会
R1.8.8 入会	井本一彦	いもと整形外科	阪大 S62	阪大	豊中市医師会
R1.8.8 入会	表 一岐	おもて整形外科骨粗鬆症クリニック		大医大 H8 阪大	豊中市医師会
R1.8.20 入会	袴 史明	JR大阪鉄道病院	産業医大 H4	大市大	阿倍野区医師会
R1.8.20 入会	小西定彦	JR大阪鉄道病院	大市大 H1	大市大	阿倍野区医師会
R1.8.20 入会	増田 翔	馬場記念病院	近大 H25	大市大	大阪市大医師会
R1.8.23 入会	木下明彦	きのした整形外科	大医大 H14	大医大	羽曳野市医師会
R1.8.23 入会	山口和男	やまぐち整形外科・リウマチクリニック		大医大 H7 大医大	茨木市医師会
R1.8.23 入会	糟谷彰宏	かすや整形外科骨粗しょう症クリニック		大医大 H10 大医大	高槻市医師会
R1.8.23 入会	宮島佑介	東住吉森本病院	大市大 H26	大市大	東住吉区医師会
R1.8.23 入会	加藤勇司	かとう整形外科リハビリ clinic			

			関医大 S61	関医大	阿倍野区医師会
R1. 8. 23 入会	中田信昭	アエバ外科病院	大市大 S56	大市大	生野区医師会
R1. 8. 24 入会	吉田博一	整形外科吉田クリニック	近大 H18	大市大	阿倍野区医師会
R1. 8. 24 入会	福田正剛	福田総合病院	川崎医大 H20	関医大	枚方市医師会
R1. 8. 24 入会	竹内英二	第二大阪警察病院	阪大 H3	阪大	天王寺区医師会
R1. 8. 27 入会	米田 智	よねだクリニック	阪大 H1	阪大	寝屋川市医師会
R1. 8. 27 入会	仲川豪一	なかがわ整形外科	奈医大 H10	奈医大	吹田市医師会
R1. 8. 29 入会	山田尚武	山田整形外科	富山大 H15	京府医大	吹田市医師会
R1. 8. 30 入会	服部 智	服部整形外科	金沢医大 H6	大医大	高槻市医師会
退会 2名					
R1. 6. 3 逝去	中村英健				堺市医師会
R1. 6. 9 退会	坂本博志	医療法人坂本整形外科診療所			堺市医師会
OCA 特別会員 9名 正会員 509名 計 518名 (内 JCOA 特別会員 8名)					
リクルート委員の先生方の努力のおかげで正会員が初めて 500名を超えた。					

2、令和元年度第 2 回 JCOA 理事会・整形外科医政協議会執行委員会 貴島理事

日 時：令和元年 6 月 16 日（日） 場 所：ロイヤルパークホテル 4F「瑠璃」

【審議事項】

- ・令和元年度入会承認及び退会状況について（三宅）
令和元年度新入会員 57 名（内、女性会員 2 名）が承認された。
令和元年 6 月 6 日現在 正会員数 5,777 名 名誉会員数 118 名 計 5,895 名
- ・令和元年度日本医学会加盟申請について（木島） 今年度も加盟申請を行う
- ・JCOA 会員のための診断書様式統一について（小野）
損害保険会社の診断書の統一書式を、医療システム委員会で検討していく

【各種報告事項】

- ・医療類似行為に係わる健康被害等の全国一日調査結果について（小野）
平成 30 年 10 月 15 日に行われた医療類似行為に係わる健康被害等の全国一日調査結果について報告があった。現在 JCOA 会報に掲載する原稿を作成中
- ・第 7 回日韓臨床整形外科合同研究会（令和元年 6 月 1 日）が大阪で開催される
- ・乳児股関節 2 次検診についての日本小児整形外科学会からの連絡について（新井）
各都道府県における二次検診受け入れ可能な整形外科施設のリストを作成していく

3、令和元年度第 3 回 JCOA 理事会・整形外科医政協議会執行委員会 貴島理事

日 時：令和元年 9 月 1 日（日） 場 所：ロイヤルパークホテル 4F「瑠璃」

【審議事項】

- ・令和 1 年度入会承認及び退会状況について（三宅）
前回承認後の新入会員 33 名が承認された。

令和1年8月21日現在 正会員数 5,784名 名誉会員数 116名 計5,900名

*新入会は、大阪だけが増えている。

- ・日本専門医機構共通講習の単位申請について（原田）
14分野の共通講習に関して、機構からのJOAへの要望があり
(1)COI有の演者は認めない
(2)講演内容は、整形外科に限らず他科の医師が聴講できる内容にしてほしい
(3)機構としてはいずれ企業の共催・後援を認めない。

【各種報告事項】

- ・専門医共通講習についての大阪の対応について（貴島）
(1)COI有の演者は認めない→COI無しの14分野演者を選定することは容易
(2)講演内容は整形外科にかぎらず、全科にわたる内容
(3)企業の共催・後援を認めない、各領域でもその方向で検討を
→1. 従来の研修会で、同日・同会場で行う場合
可能であるが、同日、同会場で行われるということで機構のチェックが入る可能性がある。その場合は単独で開催を
2. 安価な開催場所を選定して大阪の北と南で年一回ずつ14分野のみを2-3講演行う。多少の制約はあるが研修会案内をメーカーが配布することは可能
- ・令和2年度診療報酬改定要望書（Ver.1）（新井）
 - ①小児運動器疾患指導管理料の見直し
対象を6歳未満から15歳未満に、月1回算定としていただきたい。
 - ②算定日数上限を超えても、リハビリテーション継続が可能な疾患に、介護保険第2号保険者の特定疾患を加えていただきたい。
 - ③頸椎・腰椎介達牽引の独立と点数を40点としていただきたい。

【日整会報告事項】

- ・専門医のシーリングについて（原田）
専攻医の一部地域への集中しないようシーリング対象となる都道府県別診療科専攻医数の上限は、現段階では、専攻医採用数を原則超えないようにする。
外科、産婦人科、病理、臨床検査、救急、総合診療はシーリング対象外

4、2019年度2回編集委員会

山口（眞）理事

日時：令和元年6月15日（土）場所：事務局

OCAから出席者：宮島 茂夫、山口 眞一

1. ニュース第165号の反省
2. ニュース第166号の進行状況：令和元年7月末までに発行予定である。
3. 会報24号は第45回研修会（茨城）の特集号である。9月末までの発行を目指す
4. 会報25号は第32回JCOA学術集会（関西）の予定

5、2019年度第2回雑誌編集WG

山口（眞）理事

日 時：令和元年 6 月 15 日（土） 場所：事務局

OCOA から出席者：宮島茂夫、山口眞一

理事会上程事項

1. 115 号掲載改定投稿規程

学術集会発表演題論文の投稿規程を追加して、投稿案内と様式集を整備した。

報告事項

1. 115 号

国際化として英文論文と日韓臨床整形外科合同研究会について補筆した英文の案内を掲載する。英文を前面に立てる和英混合誌として、目次は英文 content を和文の前に置くように変更する。国際化プロジェクト論文である自由投稿論文 1 篇を掲載する。

2. 116 号

第 31 回学術集会の発表演題の投稿 1 篇を受理している。COI の改訂版を掲載する。様式第 3 は第 2 に番号が変わる。第 7 回日韓臨床整形外科合同研究会の英文抄録を掲載する。

3. 英文投稿

英文による投稿の問い合わせがあったが、本雑誌では対応していないと返答した。

4. 第 32 回学術集会

学術集会発表演題論文の案内を追加した投稿案内をプログラム抄録集に掲載してもらう。

5. 学術集会発表演題論文投稿システム

学術集会のウェブページからのリンクで、現在は案内ページが表示される。

協議事項

1. 115 号掲載投稿規程

2. 国際化プロジェクト論文の査読方法

次のような査読方法を学術研修委員会に提案する。学術研修委員 1 人と編集委員会/雑誌編集 WG 1 人で担当する。投稿原稿そのまま、または編集で対応する（著者による確認は不要）程度の語句の多少の訂正を入れて、受理の判定で事務局に返送するか（判定 A）、または、内容その他に大きな問題があり掲載を断るもの（判定 D）のいずれかの判定を付ける。

3. 査読の方法と移管

現状の事務局の体制では、査読を雑誌編集 WG に移管することは不可能であり、事務局員の増員もできないことから、編集実務を下請けレベルの理系学術出版業者に委託できるか、検討する。現在の国際医学情報センターは、これ以上の作業は無理である。

その他

1. Index Medics

英文論文が載った号を続けて 3 号出せたら審査を申し込むことができるが、1 回目の審査に落ちたら次の申込みは 2 年後、2 回目の審査に落ちたらその次の申込みはそれから 3 年後になる。

2. 将来の英文投稿

日本語が不確かな、つまり論理が整理されていない論文かが投稿され、それをそのまま英文にしようとしても、英文校正者が困惑するのと、英語での読者の理解が得られない。現在、英文校正も英訳も編集で日本語を直してから行っているのはこれによる。

英文投稿には、英文での投稿規程と、査読、編集を著者に対しては英語で行うことから、英語に堪能な編集委員と査読委員が必要である。英語原稿を校正業者に通させ、証明書を付けさせる海外誌と同じ方式を採用する。

6、2019年度3回編集委員会

8/5・T.V. 山口（眞）理事

OCOA から出席者：宮島茂夫、山口眞一

1. ニュース第166号、167号について
2. 会報24号、25号について

7、2019年度第3回雑誌編集WG

8/5・T.V 山口（眞）理事

OCOA から出席者：宮島 茂夫、山口 眞一

- ・ 赤松委員長の退任により、新委員長に島袋博之副委員長、を選出した。

8、令和元年度第1回運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

吉村理事

日 時：令和元年6月23日（日）場 所：日本臨床整形外科学会事務局2階「会議室」

委員会決議事項：

- （1）平成32年度診療報酬と平成33年度介護報酬の改定に向けて
- （2）運動器リハビリテーションの評価方法の検討：前回、JCOA費用対効果研究WGの「慢性腰痛に対する様々な治療方法の費用対効果を定量化・比較する研究」に本委員会として参加し、症例の登録を行い終了した。
- （3）介護事業への参入に関する検討
- （4）医療リハから介護リハの移行に関する検討及び会員への周知

委員会報告事項：

1. JCOA関西まほろば学会シンポジウムの予演及び進行について：
2. 要介護要支援被保険者の維持期リハ打ち切りの現状について。

9、令和元年度第2回医療システム委員会

8/4・東京 宮崎理事

保健所による違法広告に対するチラシを転用出来るようにする

富田林保健所作成の施術所の違法広告に関するチラシを大阪での活動内容として報告。柔整審査では、オーバーユースが認められているとのことである。

厚労省保険局医療課 都竹克宣療養指導専門官の問答で、“オーバーユース、いわゆる「反復、酷使」といったものについても支給対象として何ら変わらない”との発言。

オーバーユースを認めるべきではなく、放置すべきではないが、政治力の問題であろう。

10、リクルート委員会設置後の入会者の変化に関する報告

邊見理事

リクルート委員会設置後、在阪5大学と京大・和医大・奈良医大の非会員開業医を抽出しリストを作成し、入会勧誘を積極的に進めてきた結果、令和1年8月28日現在、名誉会員を含め515名（名誉会員8名を除くとJCOA正会員507名）に達することになった。

・今後も退会者が予想されるため、リストからリクルート委員を中心に勧誘を継続する。

・1、入会困難者、物故者、廃院などの情報

2、リストに無い、同門・地区医師会での新規開業者情報

3、「この未入会者は、面識がある」「この未入会者は、誰々の友人（理事）だ」情報

これらを邊見宛に送って頂き、リストのブラッシュアップをおこなう。

11、ロコモ健康フォーラム

8/24・大阪 大成理事

都シティー大阪天王寺（旧：天王寺都ホテル）において開催され、390名の参加があった。ついで、ロコモ市民公開講座（2019年10月5日）の出務者を決定した。

12、府医ロコモ研修会

小林副会長

8月21日（担当：宮田理事）、22日（担当：和田理事）両日にわたって、府医師会館において府医健康スポーツ医・ロコモ研修会が行われ、21日52名、22日60名の先生方が参加され、大好評であった。来年度も引き続き開催される予定である。

13、研修会推移（2月～8月まで）

木下副会長

	H29年度	H30年度	H31年・R1年度		
2月から8月まで計	2335名(1317名) 3,553,796円	2013名(1189名) 2,963,000円	1784名(1106名) 2,525,000円		

参加者数および収入は目減りしてきている。現状では赤字にはなっていないが厳しい状態である。非会員を勧誘するなど何らかの対策を要する。

14、研修会実施報告

白木副会長

特別研修会 令和元年6月8日（土） ホテルヴィアール大阪（あゆみ製薬）

128名(会員 89名) 前年度6/9 120名

319回研修会（6月22日 リーガロイヤルホテル）共催 小野薬品（株）

188名(会員 129名) 前年度6/23 170名

320回研修会（7月27日 ホテル阪急インターナショナル）共催 ファイザー（株）

177名(会員 124名) 前年度7/28 183名

特別研修会 令和元年8月3日（土） ANAクラウンプラザホテル（塩野義、リリー）

151名(会員 99名) 前年度 8/4 231名
321回研修会 (8月24日 ANA クラウンプラザホテル) 旭化成 (株)
305名(会員 171名) 前年度 8/25 252名

この議事録が正確であることを証するため、定款第40条の規定に従い、
会長及び監事が署名、押印する。

令和 / 年 10 月 5 日

会長 増田 博 印

監事 栗本一寿 印